資料４

安心ネットづくり促進協議会の取り組み

1億人のネット宣言
もっとグッドネット

安心ネットづくり促進協議会概要

1億人のネット宣言 もっとグッドネット

安心ネットづくり促進協議会（安心協）は、インターネットの利用環境を整備するための民間における様々な取り組みの結節点となり、これまでの個々の活動やノウハウを結集し、国民に分かりやすく発信していくための、利用者・産業界・教育関係者等が集う組織として、２００９年２月２７日に設立。

安心協では、民間企業や各地域での取り組みを収集・紹介し、青少年インターネット利用環境整備に関するアイデアの共有とそれらを発展させる議論の場を提供。それにより、総合的なメディアリテラシーの向上を促進し、ＩＣＴを使いこなす子どもたちとそれを温かく見守る大人達の育成を目指し、民間主導による安心・安全なインターネット利用環境の実現に向けて取り組んでいる。(平成２４年４月時会員数　１８７）

これまでの安心協活動の成果（普及啓発活動）

1億人のネット宣言 もっとグッドネット

普及啓発委員会

利用者・産業界・教育関係者などが一体となった協議会の強みを生かし、これまでに個々に行われてきた国民の情報モラル、リテラシー向上等を目指すそれぞれの施策とノウハウを有機的につなげた活動を「全国普及事業」「地域普及事業」として、「一億人のネット宣言　もっとグッドネット」を合い言葉に各種活動を実施。

1 全国普及事業

（１）会員企業、団体提案コラボ事業によるグッドネット普及活動

・TOKYOFM番組「スクールオブロック」と連携した１万人
　グッドネットチャレンジ（2010年8月、2011年9月、2年連続達成）

・グリー、グッドネット公式アカウント設置（2010年11月）

・高校生による携帯利用に関する全国コンテストケータイ甲子園の開催（2011年5月）
　応募３５チーム、本選１０チーム、本選参加者２００名、参加者満足度９１％
　　※ハイパーネットワーク社会研究所とのコラボ事業

・主婦連合会による「もっとグッドネット」パネル展(2011年3月～5月　於：主婦会館)

（２）もっとグッドネットホームページの開設と拡充

・家庭での携帯利用のルール作りを支援するコンテンツ「ケータイ家族もばみ」設置

・会員や関係者のノウハウ等に関する取材記事「もっとグッドタイムス」掲載

これまでの安心協活動の成果（普及啓発活動）

1億人のネット宣言 もっとグッドネット

② 地域啓発事業

青少年の情報モラルやネットマナー、リテラシー向上を目指して、保護者や教員等を中心とするシンポジウムや青少年向けワークショップを開催。

（１）シンポジウム実績

実施年度	開催回数	参加者数	理解度	満足度
２００９	２０回	6, 600人	７６％	８８％
２０１０	１０回	4, 000人	８１％	９４％
２０１１	１２回	5, 600人	８７％	９５％

＜近畿PTAブロック研究大会＞

（２）青少年向けワークショップ実績

実施年度	開催回数	参加者数
２００９	３回	3, 000人
２０１０	３回	3, 600人
２０１１	４回	4, 400人

＜ワークショップコレクション＞

＜丸の内キッズフェスタ＞

これまでの安心協活動の成果（調査企画活動）

1億人のネット宣言 もっとグッドネット

調査企画委員会

インターネットの安心・安全に関して、民間の自主的な取組を一層促進するために必要な調査・検証を行うとともに、新たに取り組むべき課題に対して、関係者が集まり必要な検討を実施。

調査検証作業部会

- インターネット利用が青少年に与える影響に関して、「暴力・いじめ」「性行動」「自殺」「依存」の４つをテーマに、小中高の学校及び会員企業の協力を得て、大規模なアンケート調査とその結果の基づく統計的な分析を実施。
- 安心ネットづくりに関係したナレッジ共有・情報発信に関する取組として、2010年1月に開設したサイト「もっとグッドタイムス」において情報発信を実施。

※著名人インタビュー、コミュニティサイトのあるべき姿、教育現場の現状、大人は知らない等のテーマについて、2011年3月末までに25本掲載。

児童ポルノ対策作業部会

- インターネット上の児童ポルノ対策として、諸外国の取組の調査を行うとともに、それを踏まえた児童ポルノサイトの閲覧防止策の一つであるブロッキングについて、法的問題や技術的課題について慎重に検討し、民間の自主的取組として実効性のあるブロッキングの導入に向けた環境を整備。

※ブロッキングは児童ポルノの流通防止に対して有効な方策である一方、通信の秘密や表現の自由など、国民の重大な権利・利益に影響を及ぼす危険性も含む対策であることから、幅広い関係者の参加の下、慎重に検討。

これまでの安心協活動の成果（調査企画委員会）

1億人のネット宣言 もっとグッドネット

スマートフォン利用作業部会

・青少年への急速に普及が予想されるスマートフォン利用に関し、新たに取り組むべき課題として無線ＬＡＮ及びアプリ経由のインターネット利用等について、幅広い関係者が集まり、スマートフォンに関わる青少年保護に関する関係者の取り組みの共有を図り、課題を検討するため、２０１０年１０月より開催。

（注）サービスや機器の設計段階から青少年が利用する可能性を検討して、必要な対応を行う「青少年保護・バイ・デザイン」の考え方の実践に向けて、積極的に検討を行っているところ。

コミュニティサイト検証作業部会

・コミュニティサイト利用を契機として発生している問題（※特に青少年の福祉犯被害）に関する情報の共有、課題整理と対策について検討を実施。
・2009年度は課題を整理した報告書「子どもを護るために」を公表。各関係事業者にてゾーニングの導入、啓発コンテンツの掲載等の取組み、ミニメール監視といった監視体制の確立、年齢認証の確実化に向けた対策や取組み等が推進された。
・2010年11月には、児童・青少年がインターネットやケータイにおいて犯罪に巻き込まれることのないよう安全なインターネット環境を実現することを目的として、政府関係府省庁と連携し、「子どもを護るための緊急アピール」を公表。なお、青少年のコミュニティサイト利用実態調査を実施し、その結果も踏まえ「2010年度 最終報告書」を取りまとめた。

協議会の今後の活動の方向性　～スマートフォン時代の安心・安全の実現～

今後の主な検討課題

①　スマートフォンの普及に伴い発生する新たな課題への対応

－スマートフォンの青少年利用における課題への対応（スマートフォン作業部会）

②　青少年・保護者・学校関係者等の一層のリテラシー向上

－ＰＴＡと連携した保護者のリテラシー向上、学校関係者のリテラシー向上への取組

－青少年リテラシー向上に向けた企業、学校、自治体等各関係者の取組との連携推進

今後の活動の方向性

①　安心協活動の発信強化・更なる関係者の参加拡大

－　活動の広報及び提言等成果の発信機能を強化

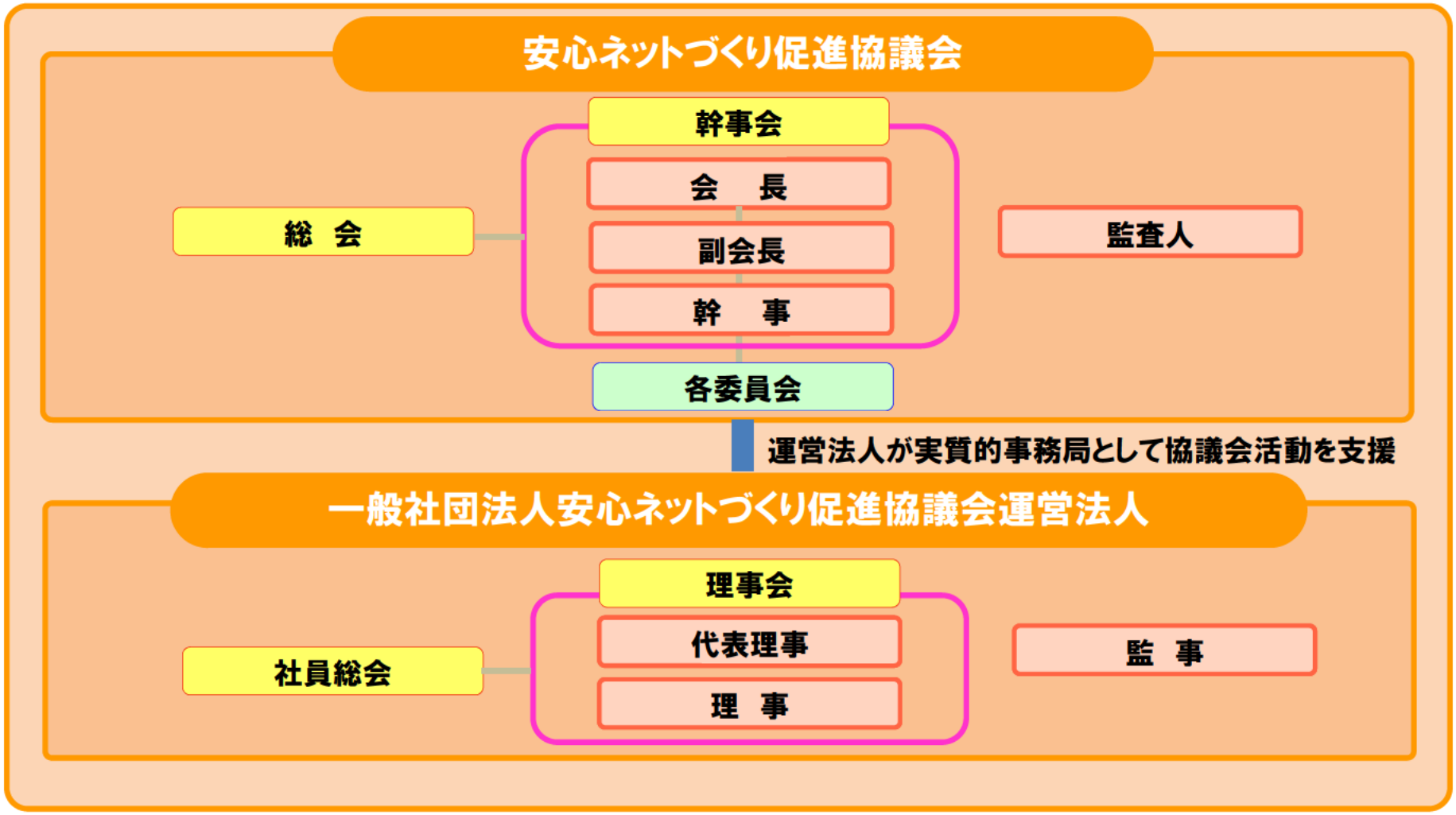
－　多様な関係者が参加する中立的団体であるという強みを一層積極的に打ち出し、保護者、利用者、関係事業者のみならず、行政、各種団体、企業等との連携強化を図る

②　安心協活動の地域展開(地域安心協の展開)

－　オールジャパンでの取組みとして、各地域における普及啓発活動を積極的に支援し、各地域の関係者の有機的連携を図り、地域自立型の普及啓発推進体制の構築を目指す

③　国際連携の積極的推進

－　安心協が取組む課題グローバルな課題であることを踏まえ、海外の同種団体との連携等を積極的に推進

安心ネットづくり促進協議会新体制

本年３月２１日総会の決定を踏まえ、３月３０日に一般社団法人安心ネットづくり促進協議会運営法人を設立